



さんかく21・Anjo



生理って
何がそんなに
大変なの？

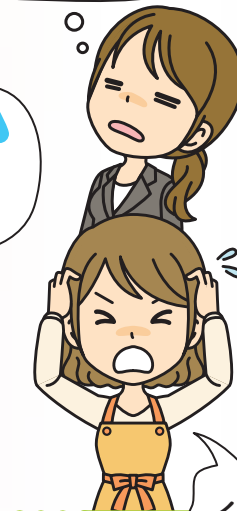
生理前は
特に眠い

いつも体が
つらいけど
病院はお金か
かるから
行けない

年配の
男性上司に
生理で休むって
言いづらい

このまえ急に
生理がきて
服が汚れちゃった

それはつらい
長い会議とか
困るよね



イライラ
するし！



男性にも
関心を
もって
ほしい



新しい言葉の力

会長 山崎 嘉代子

SDGs、ジェンダー平等、フェムテック、これらは2021新語・流行語大賞にノミネートされた言葉です。

SDGsの「目標5ジェンダー平等を実現しよう」は、私たち、さんかく21・安城の活動目標であり、誌面に掲載しているように市内の中学校でも取り組んでいます。

フェムテックは、Female(女性)とTechnology(技術)をかけ合わせた造語で生理、妊娠、更年期など女性の健康的な課題を新たな技術で解決していくサービスのことです。始まりは2012年ドイツで、月経管理アプリを開発した起業家の発言です。日本でも開発が進み生理用吸水ショーツなど多くの製品が流通しています。

今まで多くの人が我慢していた痛みや不快感など女性特有の課題について発信、発言してもいいという雰囲気を作られてきたようです。フェムテックという言葉が広がり世の中を変えたことに、言葉の力を実感しました。新しい言葉を聞きその内容を知ること、私たちが変わり、社会が変わるきっかけになればいいと思います。

目次

- * 生理の貧困、世代間で異なる生理に対する意識 P2
- * 生理用品を無償配布しています P3
- * 生理のつらさを話してみよう P3
- * 中学生が作成したジェンダー平等啓発ポスター P4
- * 男女共同参画月間イベントオンライン講演会開催 P4
- * さんかくニュース男女共同参画推進活動者表彰 P4

中学生が作成したジェンダー平等啓発ポスター

安城南中学校3年生がSDGsの活動を考え、市民の方にジェンダー平等の意識を高めてほしいという思いでポスターを発案・作成しました。



齋藤 花乃さん作



鈴木 桃子さん作

令和3年度男女共同参画月間イベントオンライン講演会開催

きっと毎日が
楽しくなる！**心地いい家族のカタチ**

10月31日(日)
10:00~11:30

講師：山田 亮氏 (楽家事ゼミ主催、家事ジャーナリスト、社会福祉士)

生活自立度チェック 15問

山田氏が提唱された生活自立度チェックです。

1. 服の着替えがどこにあるかわかる
2. 掃除機に溜まったゴミを捨てて再セットできる
3. 家にある炊飯器でご飯が炊ける
4. テキストを見ずに作れる料理が3種類以上ある
5. 食後の片付けができる
6. 今、家にある洗濯機を使ったことがある
7. カセットコンロのボンベの捨て方がわかる

8. トイレ掃除ができる
9. 家族の保険証がどこにあるかわかる
10. 先月の食費を把握している
11. 自分の下着は自分で買う
12. ご近所さんの名前を3人以上知っている
13. 自治会などの回覧は必ず目を通して
14. これからも続けられる趣味がある
15. 人との会話が一日30分以上ある

○が少ない方は、家族に頼りすぎかもしれません。まずは自分のことは自分でできるようにしてみませんか。

参加者の声

- 家事は分担でなく共同(共にやる)ということがよくわかった。
- 家事ストレスは伝わらない関係によるストレス。伝える努力！聞く気持ち！この言葉にぐっときた。

さんかくニュース

男女共同参画推進活動者表彰

受賞者 船尾 恭代 (ふなお やすよ) さん

10月4日(月)ウィルあいちで男女共同参画のつどいが開催され、船尾 恭代さんが表彰されました。船尾さんは「さんかく21・安城」の会長を務められ、市と協働のイベントの企画・運営や「ミス七夕」の名称と申し込み要件の変更など男女共同参画の推進に尽力されました。令和2年4月に、安城市の更生保護女性会会長に就任されました。



受賞者コメント

男女共同参画については男女平等と言われていた頃から関心を持ち活動していました。「さんかく21・安城」のおかげでその活動が認められたと思っています。

「さんかく21・安城」とは

男女共同参画社会の実現をめざす市民グループのネットワークの会です。

(令和4年2月1日現在のグループ一覧・順不同)

安希の会／安城国際交友会の会／安城市食育健康づくりの会
安城市更生保護女性会／安城市消費生活学校
刈谷・知立・安城おやこ劇場／グリーンそう
国際交流安城はなのき会／ボランティアネット北明治の会
やはぎ会安城支部／NPO法人安城まちの学校／NPO法人ing
NPO法人育て上げネット中部虹の会
NPO法人チャンネルDaichi
指定生活介護事業所ぬくもりの家／ウイメンズネット安城
日本デンマークネサンス推進機構
NPO法人あんじょう地域ねこの会
安城市民やろmyプログラム実行隊
19団体 個人会員23名

編集後記

34号編集委員

世界的に話題となった「生理の貧困」に注目してみました。生理のつらさなどを知るきっかけになれば幸いです。

また、ジェンダー平等について、中学生が自分たちに身近な制服で考えてくれたのは嬉しいですね。

山本美由湖・安仲嘉輝・伊藤朝野
高良真利子・中根敬子・山本典子

企画・編集：さんかく21・安城
発行：安城市

問い合わせ 安城市役所市民生活部市民協働課
〒446-8501 愛知県安城市桜町18-23
Tel (0566) 71-2218 Fax (0566) 72-3741

生理の貧困

経済的な理由などにより生理用品を十分に購入ができない、いわゆる「生理の貧困」について国内外で関心が高まっています。内閣府の重点方針のなかで女性の健康や尊厳に関わる重要な課題と位置づけられ、国や自治体によるさまざまな支援が行われています。

ナプキン購入だけじゃない 生理にかかる費用

令和3年3月、15歳以上24歳までの女性2,000人へのアンケートによると、ひと月にかかる生理用品の購入は300～700円程度が最も多く、生理用品の購入の優先順位は中位程度です。しかし中には収入とのバランスで購入が負担となるケースもみられます。

生理用品の購入をためらったことがあるかの質問でも、10人に3人がためらったことがあると回答しており、その理由として経済的なことが多く挙げられました。また、婦人科受診、鎮痛剤購入、低容量ピルなど、様々なニーズがありますが、それを選択できない女性もいます。

生理用品の購入を ためらった理由は？

生活苦だけではなく、まわりの無理解、親による虐待(ネグレクト)も理由になっています。

224人	収入が少ないから
179人	生理用品が高額だから
173人	お小遣いなど自分が使えるお金が少ないから
167人	他のことにお金を使わなければならないから
126人	自分で買うのが恥ずかしいから
61人	品切れや数量制限などで購入できなかったから
51人	親／保護者を買ってほしいと頼むのが恥ずかしいから
45人	親の収入が少ないから
34人	親／保護者が買ってくれないから

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン「日本のユース女性の生理をめぐる意識調査結果」(2021年4月)

世代間で異なる生理に対する意識



80代の義母から「生理中はお風呂が一番最後に入りなさい」と言われて驚きました。(40代女性)

妻に頼まれても生理用品を買うのは抵抗がある(50代男性)



生理のつらさは女性の間でも個人差があるし、自分だけ休むことに罪悪感があって、生理だから座っててもいい？と言えない。(20代女性)



妻から生理中と聞いて体調を気づかったり、生理用品の購入もします。(40代男性)



生理用品を買っていくのは圧倒的に女性が多いのですが、中には男性のみで買っていく姿も見かけます。男性のみで買っていても特に違和感はありません。奥さんに頼まれて買いに来て、どれが良いかわからず、女性店員に聞く人もいたりします。またカップルで来て、一緒に買っていく姿を見ることがあります。(薬局店員)



自分は男だから、生理のことがわからないのでどんな配慮をすればいいのかわからない。(20代男性)



生理のつらさを話してみよう



チャイルドライン
(18歳までの子ども)
▶電話(毎日)
▶チャット(水(第1・3)、木・金・土)
16時～21時



よりそいホットライン
(24時間・通話料無料)



こんなこと
誰にもいえない
どうしよう



学校では
保健室の先生が
相談にのるよ

生理のつらさを周りの人に言えない状況もあります。悩みごとや困りごとを相談窓口と話してみませんか？(相談窓口はQRコードから)

生理について感じること
(注:複数回答可・一部抜粋)

974人	生理痛が辛い
602人	生理になりたくない・生理を止めたい
522人	PMS(月経前症候群)が辛い
474人	生理になったとき人に会いたくない
363人	腹が立つ
318人	バイトや部活、授業、仕事などを休まなければならず辛い
297人	何も感じない
252人	PMS(月経前症候群)を分かってもらえない
218人	恥ずかしい／嫌だ
180人	母親・姉妹とは話せるが父親・兄弟と話せない
124人	どの家族とも問題なく話せる
100人	答えたくない
91人	家族には話せない

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
「日本のユース女性の生理をめぐる意識調査結果」
(2021年4月)

お腹いたい～
腰だるい～



つらそうだね。
僕ができることはある？

生理は自然で大切な体のしくみです。
人それぞれの生理の悩みを気軽に話せる環境をつくることは、
自分を理解し、相手を理解することにつながります。
それは多様性を認め、ジェンダー平等の第一歩になるはずです。

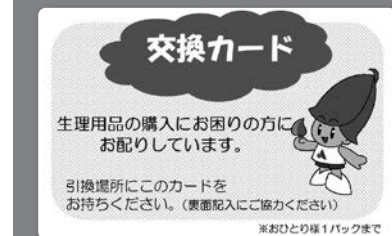
安城市のとりくみ

生理用品を無償配布しています



生理用ナプキン2パック
(昼用・夜用)
防災備蓄食料品等
相談窓口の案内チラシ

窓口にお持ちください



トイレ等に設置の交換カード



画面提示でも

お困りの方への生理用品の無償配布をSDGsの17の目標の一つである「ジェンダー平等の実現」の取り組みの一つと位置づけています。女性や若者の悩みごと相談窓口の案内チラシを同封し、お困りの方が適切な相談支援を受けられるようサポートしています。



くわしくはこちらから

配布場所

安城市役所北庁舎1階相談室
へきしんギャラクシープラザ(文化センター)
社会福祉会館(安城市社会福祉協議会)
桜井公民館(桜井支所)
北部公民館(北部支所)
明祥公民館(明祥支所)
安城市民交流センター(市民活動センター)

対象:安城市内在住、在学の方(小中学生は学校保健室でも配布)

窓口で交換カードを提示 市公式ウェブサイト掲載のカード画像やチラシの提示でも可。

おひとり様1回につき1セットまで。なくなり次第終了。※交換カードは各配布場所の女子トイレ、多目的トイレに設置